

4年 子どもたちのよさをさらに伸ばすために

1学期が終了し、学習の成果と課題を見つけることができました。2学期以降は、既習の学習や生活経験を生かし、次のような点に力を入れて授業の充実を考えていきます。

国語

- ・文を書く時には、既習の漢字を使うようにさせる。国語辞典を常備し、活用させることで、言葉への関心を高め語彙を増やしていく。
- ・簡単な構成メモを活用したり、示された型や観点を選択して書いたりすることで、自分の考えを明確にした文章を書けるようにする。
- ・書いた文章をタブレットで共有する中で、互いの書き方の良いところを学ぶ。

社会

- ・問題解決型の学習を通して、用語・語句等を分かりやすく指導する。
- ・資料の読み取り方の指導を丁寧に行い、基礎を定着させる。
- ・学習感想やまとめを書くことを習慣化させ、自分の考えを書いたり、まとめを書いたりできるようにする。
- ・地図記号・都道府県名は、重点的に指導をしていく。

算数

- ・ステップ学習、東京ベーシックドリルの練習問題などを活用し、個々のつまづきを把握し、既習事項の定着を図る。
- ・図や数直線を活用して根拠をもって立式し、説明することができるようにする。
- ・具体的な操作活動(作図等)を通して、図形の性質を理解させる。

学級活動

- ・見通しをもち、自主的かつ協力して活動を進められるようにする。
- ・学級目標を意識した実践ができるよう、互いに関わら合う活動を考える。

入新井第二小学校の4年生

体育

- ・めあてをもち、楽しみながら基本的な技能を身に付けさせる。
- ・ルールを工夫することや、友達同士の学び合いを通して、活動する楽しさを味わわせる。

理科

- ・実験や観察の結果から考察するために、振り返りを大切にする。文に入れるキーワードや書き方の型を示し、タブレットや話し合い等で共有し、互いに書き方が学べるようにする。
- ・実験・観察に加え、写真提示や動画視聴を取り入れ、知識や用語を正しく身に付けさせ、既習事項の定着を図る。

音楽

- ・リコーダーの基本的奏法を身に付けさせ、技能を伸ばせるよう、指導を工夫していく。
- ・歌詞の内容をイメージさせながら、曲想に合った表現を工夫できるようにさせる。音色や旋律な音楽を形づくっている要素を考えながら演奏できるようにさせる。

図工

- ・手や体全体を十分に働かせ創造的につくったり表したりさせる。(材料を自分の表したいことと重ね合わせる)
- ・造形的なよさや面白さ表し方について考え、豊かに発想や構想し、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げさせる。(完成のイメージをもたせる)

ICTの活用

- ・写真やグラフ、動画等の資料を、効果的に授業に活用する。
- ・タブレットを活用させ、学習したことの定着を図る。また、学習や調べ学習のまとめに活用させることで、表現力を養う。